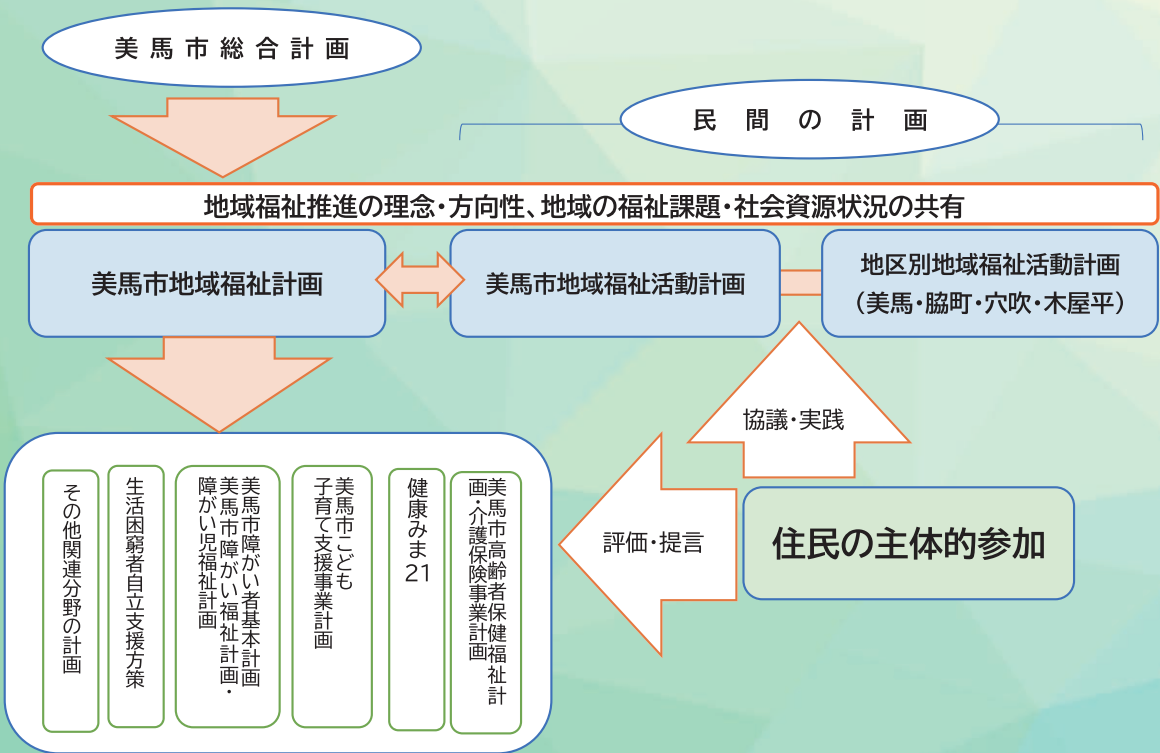


6.計画の位置づけ

「美馬市地域福祉活動計画」と地区別の「地域福祉活動計画」は、市の地域福祉計画と連携しつつ、民間の立場から具体的に地域福祉の推進を、計画的に進めるための住民参加による行動計画です。

美馬市地域福祉活動計画と行政計画との関係図(概念図)



第4次 地域福祉活動計画

令和7年度(2025)～令和11年度(2029)

第4次美馬市地域福祉活動計画策定委員会 委員名簿(順不同・敬称略)

	氏 名	所 属 機 関	備 考
1	中川 洋二	美馬市自治会連絡協議会 会長	
2	青木 美智子	美馬市ボランティアセンター市民活動センター運営委員会 委員長	
3	西前 清美	美馬地区地域福祉活動計画策定委員会 委員長	
4	長浦 茂康	美馬地区地域福祉活動計画策定委員会 副委員長	
5	濱田 圭二	脇町地区地域福祉活動計画策定委員会 委員長	副 委 員 長
6	大谷 茜	脇町地区地域福祉活動計画策定委員会 副委員長	
7	上谷 敏也	穴吹地区地域福祉活動計画策定委員会 委員長	
8	本家 富子	穴吹地区地域福祉活動計画策定委員会 副委員長	
9	黒岩 誠治	木屋平地区地域福祉活動計画策定委員会 委員長	委 員 長
10	新谷 文孝	木屋平地区地域福祉活動計画策定委員会 副委員長	
11	佐和 良佳	美馬市社会福祉協議会 理事	
任期 令和6年9月27日～令和7年3月31日			

第4次地域福祉活動計画アドバイザー	ローカリズム・ラボ 代表 井岡 仁志
-------------------	--------------------

社会福祉法人 美馬市社会福祉協議会
〒779-3610 徳島県美馬市脇町大字脇町 1265 番地 1
TEL0883-53-7432 FAX0883-53-6475
E-mail : mimashi@tokushima-shakyo.jp

令和7年3月 ダイジェスト版

社会福祉法人 美馬市社会福祉協議会
第4次地域福祉活動計画策定委員会

1.策定にあたって

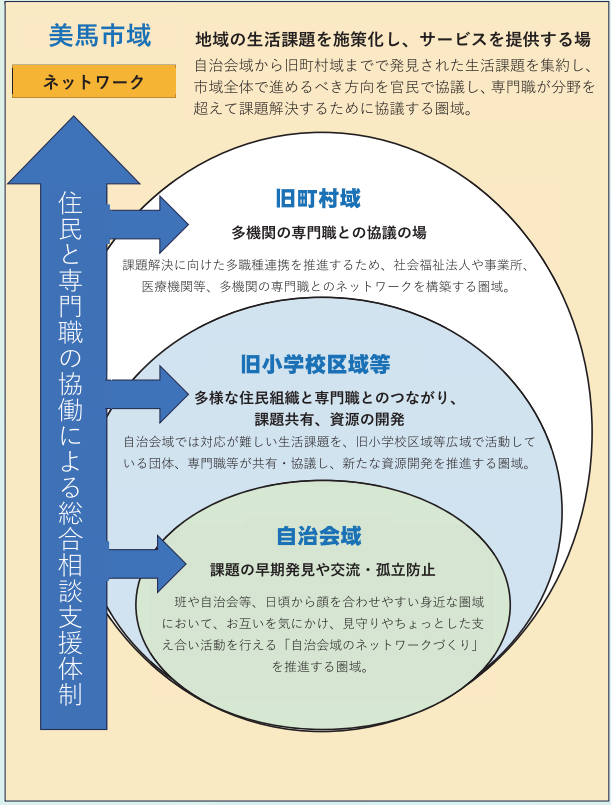
急速な少子高齢化や人口減少、つながりの希薄化が進む中、個人や世帯の抱える多様化する課題と、多発する大規模災害などから生じる様々な地域課題の解決に向けて、人と人のつながりの再構築が求められ、それに向けた相談支援体制の強化など包括的な支援体制が必要とされています。

このことから第4次地域福祉活動計画では、地域の自助・互助に加え、小地域活動を支援・推進する重層的支援体制に向けた取組を盛り込み、役職員や住民、関係機関と協働して目指す計画として策定しました。

2.計画の目的

「美馬市地域福祉活動計画」と地区別の「地域福祉活動計画」は、私たちが暮らす美馬市が、高齢になっても、障がいがあっても、子どもから高齢者まで、誰もがいつまでも安心して暮らし続けることができるように、一人ひとり、また地域全体でどのような取組が必要かを協議し、住民参加、官民協働で取り組んでいくことを目的としています。

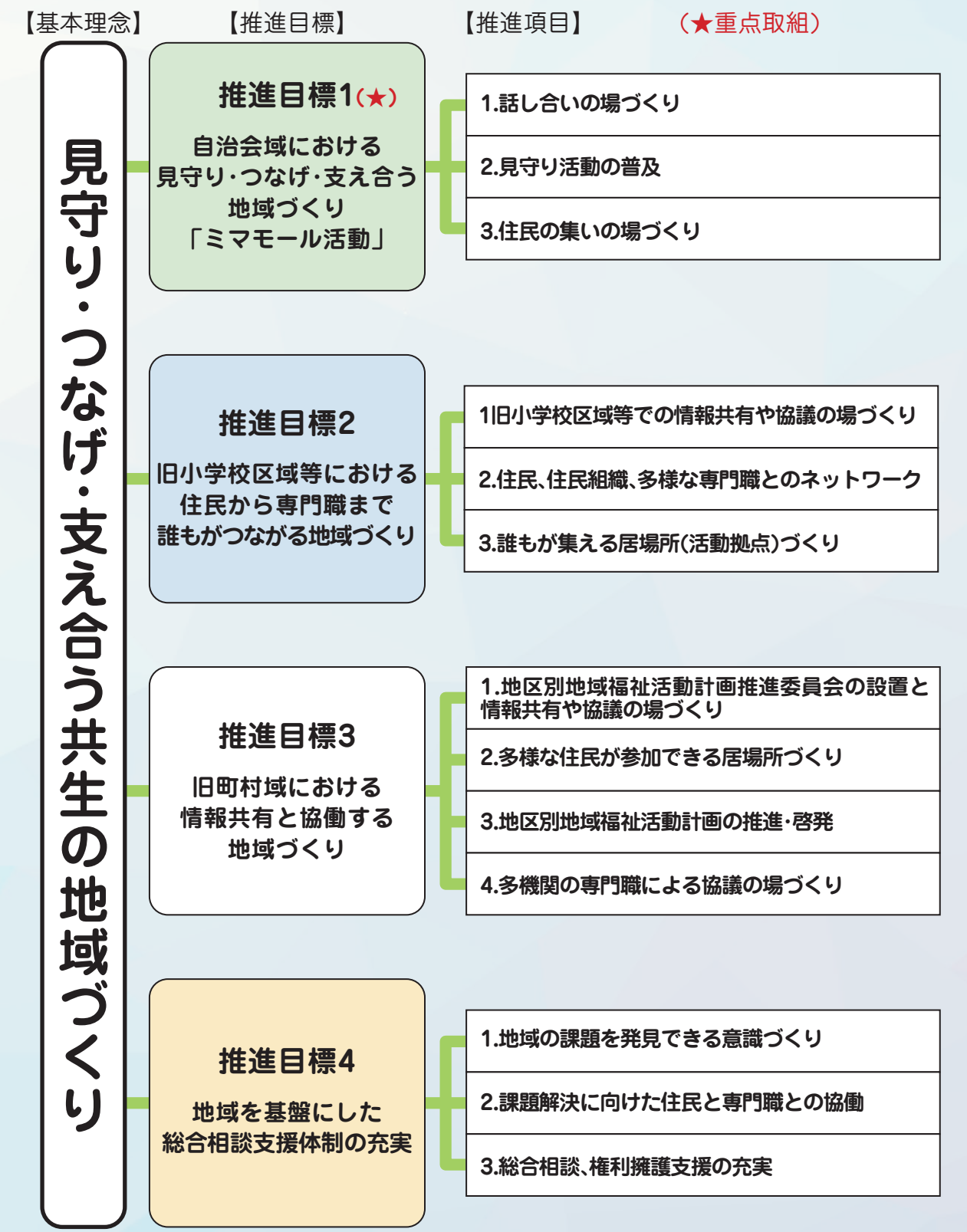
3.圏域の設定



- 地域の福祉を推進する重層的な圏域とするため、
- 自治会域
課題の早期発見や交流・孤立防止
 - 旧小学校区域等
多様な住民組織や専門職とのつながり、課題共有、資源の開発
 - 旧町村域
多機関の専門職の協議の場
 - 市域
地域の生活課題を施策化しサービスを提供する場
- として設定しています。

4.第4次美馬市地域福祉活動計画の体系図

この計画は、基本理念に基づき、5年間で地域の基盤強化を図る推進目標と推進項目で構成されています。



5.地区別地域福祉活動計画

美馬地区地域福祉活動計画

自治会域でミマモールもも

【支え合い】支え合いマップの定期的な更新をすすめ、地域で情報共有できる場をつくっていこう。

【居場所】住民が気軽に集まれる小さな居場所をつくっていこう。

【情報共有】情報から取り残される人をつくらなくよう、サロン活動等を活用して情報を発信していこう。

【見守り】地域内の見守り活動を充実していこう。



旧小学校区域等でツナガール

【話し合いの場】まちづくり協議会や自治会連合会と協働して、旧小学校区ごとに集まり、話し合う機会をつくろう。

【居場所】住民が気軽に集まれる場所を増やせるよう、地域内の拠点を活用しよう。

【つながり】地域の避難所で防災訓練を実施する地域を増やし、防災意識を育もう。研修会等を通して、専門職(福祉関係者、医療従事者等)と相談できる関係を築いていこう。



※まちづくり協議会とは？
美馬小学校へ統合後においても、旧小学校区単位でのまちづくりを維持・推進するために設置された協議会。

旧町村域でフカメール

【話し合いの場】地域情報(人材や活動、資源)の共有、地域の状況について話し合える場をつくろう。

【つながり】子どもから高齢者まで、地域の人が集える機会をもち、美馬町内のつながりを深めていこう。

【人材育成】地域で活躍するボランティア等、福祉人材の育成に取り組み、美馬町内に活動の輪を広げていこう。



各圏域ごとの活動を通して
総合相談支援体制へつながっていきます！

この活動と一緒に
すすめていこう！



◎地域を基盤にした総合相談支援体制の充実

- ・地域の課題に気づき、我が事としてとらえることで、解決に向けた意識が高まる。
- ・専門職と相談できる関係が築け、連携して支援できる体制をつくる。
- ・新しい資源(人材・居場所)ができることで、問題を発見しやすくなり、課題の早期発見ができるようになる。

策定委員からのコメント

- ・身近な自治会内から話し合いの機会を設け、多様な課題を拾い上げることができるよう地域に働きかけていきたい。
- ・美馬町地域の福祉活動の推進は待ったなしの課題だと思う。策定委員会で他の委員からの活動報告を聞き、大変参考になった。若い人の活動に期待を寄せている。
- ・人生100年時代。誰一人取り残さず、寄り添い、皆が幸せに生きられるよう目配り。自分の地域では、ふれあい・いきいきサロンを通して、社会参加を進めていきたい。
- ・誰もが住み慣れた場所でその人らしく暮らせる仕組みをみんなでつくるため、活動を起こすことが大切であり、「ゆるやかなつながり」を目指し、今後も福祉活動に努めたい。
- ・少子高齢化、人口減少の今だからこそ、地域と住民の「力」を重視し、専門職等との連携を保ちながら住民一人ひとりがもっている「力」をだせるよう、「地域福祉力」を高めていきたい。

～策定委員名簿～ ※敬称略

委員長:西前 清美 副委員長:長浦 茂康

青木 幸代	荒岡 和幸	逢坂 俊英	北岡 武義	北岡 博貴
阪本 眞弓	柴田 益宏	曾我部早苗	園原 義正	高田 征仁
武田 敬一	田所 義人	田中みさき	田邊 正枝	長江タマリ
原田 尚子	藤永 圭子	藤本周作	藤本 理子	三宅 久美



脇町地区地域 福祉活動計画

自治会域における見守り・つなげ・支え合う地域づくり「ミマモール活動」

○寄り合いの場をつくろう



- ・サロン
- ・小ネット
- ・新しいコミュニティ

地域行事など復活で
集まるきっかけづくり!!

○話し合いの場をつくろう

○見守り活動を広げよう

○地域リーダーやお節介焼きさんを 発見しよう

旧小学校区域等における住民から専門職まで 誰もがつながる地域づくり

○小学校10圏域で情報共有や話し合いの 場を持とう

- ・自治会 ・民生委員児童委員 ・学校関係者 ・婦人会
- ・まちづくり協議会 ・老人クラブ ・各種団体 など

○住民組織や専門職とのネットワークをつくろう

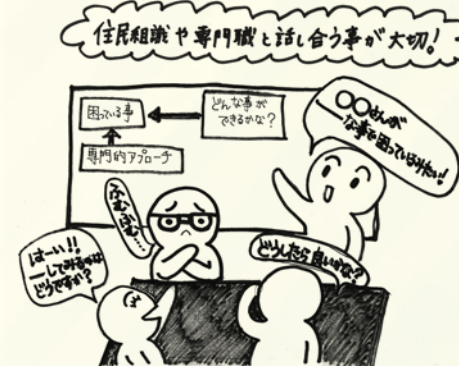
- ・地域住民 ・専門職
- ・地域のスペシャリスト
(医療・介護・福祉関係者)

◎話し合い、
集いの場へ参加

○住民誰もが集える 居場所をつくろう

- ・サロン ・小ネット
- ・自主防災会 ・お祭り など

◎子ども・親世代を巻き
込んだ居場所づくり



旧町村域における情報共有と協働する 地域づくり

○幅広い組織間の話し合いの場を持ち ネットワークをつくろう

- ・各地域(江原・脇町・岩倉)
の代表が集まり話し合える
機会をつくる

交流会の開催



○居場所づくりを進めていこう

- ・集会所・空き家・
公共施設を利用する

居場所への
移動手段の検討



☆地域の課題を発見できる意識づくり

- ・地域の課題に気づき、**我が事**としてとらえ、解決に向けた意識を持つ

地域を基盤にした 総合相談支援体制の充実

☆課題解決に向けた住民と多職種との協働

- ・住民と専門職が「つながろう」
- ・課題に応じた話し合いの場を持とう



<策定委員からのコメント>

- ・地域のことを改めて見直し考えるようになりました。
- ・見守ることの重要性を感じました。
- ・地域内コミュニケーションを積極的にとっていきたいです。
- ・会議って難しく考えず... 買い物や散歩で出会ったら井戸端会議する事で地域や住民の困り事など発見することができるので、日頃からあいさつを大切にしています!
- 皆さんもあいさつでつながっていきませんか?

<策定委員名簿> ※敬称略

委員長・濱田 圭二	・金崎 前	・古川なおみ
副委員長・大谷 茜	・郷司千亜紀	・南 邦明
・阿部 嘉子	・佐藤 直樹	・六車 功二
・岩本 泰弘	・佐和 良佳	・森 廣一
・上田 和夫	・祖川 美穂	・山越 明
・大久保孝雄	・武田一比古	・横山 礼子
・香川 充	・藤尾 良信	・吉田 文昭
・蔭山 勝利	・藤本 幹郎	
・香西 孝史	・古川 省三	

穴吹地区地域福祉活動計画

自治会域

自治会域における見守り・つなげ・支え合う
地域づくり「ミマモール活動」

- ☆相談の場をつくろう
- ☆見守り活動を広げよう
- ☆リーダーを育成しよう
- ☆何でも相談しあえる地域にしよう

◇地域行事や防災訓練などを通じた
自治会長間におけるネットワーク
づくり

◇様々な専門職との情報共有と連携
◇既存のイベントを活用し、様々な
世代が集い、繋がりや情報交換が
行える場づくり

◇防災活動を通じた繋がりづくり

◇自治会やいきいきサロン、小ネット等
の組織における相談の場づくり

- ◇小ネット活動の取り組み推進
- ◇地域リーダー育成のための機会づくり
- ◇お互いに声を掛け合える地域づくり

旧小学校区域等

旧小学校区域等における住民から専門職まで、
誰もがつながる地域づくり

- ☆小学校区における情報交換やネット
ワークを構築しよう
- ☆住民組織と専門職のネットワークを
つくろう
- ☆多世代が集える場をつくろう

◇ミマモール活動担い手会議を開催し、
多様な活動を広げる

◇お互いの活動を知る情報共有の場づくり
◇小学校区の代表や福祉委員、異なる地域
の団体との意見交換を行う

◇民生委員児童委員や他機関との見守り
活動ネットワークの話し合いの場をつくる

◇既存の団体や会議を活かしたネットワー
クづくり

◇子育て世代を巻き込んだ地域自慢ができる
イベントの開催

◇既存の団体のリーダーが旧町村域全体を
見渡せる意識改革の推進

旧町村域

旧町村域における情報共有と協働する
地域づくり

- ☆広域的な話し合いや相談が出来る
場をつくろう
- ☆専門職を交えた見守り活動の展開
をしよう
- ☆地域を担う新たなリーダーの育成
をしよう

地域を基盤にした総合相談支援体制の推進

総合相談支援体制の充実
☆地域課題を発見できる意識づくり
☆課題解決に向けた住民と専門職との協働

- ◇地域や個々の課題を発見し、地域で考える機会をつくる
- ◇専門職との関係性の構築
- ◇課題に応じた資源の開発



策定委員からのコメント

・地域の福祉活動の実現には、人のつながりが最も大切だと思います。今回参加させて頂き、初めてお会いした方々、いろんな世代の方々とお会いできたことはとても有意義でした。こうやって集まることが計画の実現につながるものと思います。ありがとうございました。

・今回、計画策定に携わり各委員との交流や地域の現状を知ることができました。少子高齢化に対応する住みやすい環境を維持するためにも住民と様々な専門職が協働して取り組んでいくことの大切さを感じました。今後、魅力ある地域づくりを目指していきたいと思っています。

・地域福祉は住民一人ひとりの気遣いや思いやりがすべてだと感じました。皆さんもご近所に困っている人がいないか、少し視野を広げてみてください。

・住民参加のワークショップに参加ができ、良い経験ができました。ありがとうございます。

・昔からの温かい人とのつながりや豊かな自然を再認識する機会となりました。良い環境が揃っているのに“少子高齢化・過疎の町”の典型的な姿になっています。課題は多いが、住民自らがコミュニティをつくり、それを支えるリーダーが必要だと思います。いざ実践！大変だなあが本音。新しい人とのつながりができ、刺激を受けました。楽しかったです。よくしゃべりまくる夫婦の話にお付き合いください、ありがとうございました。

・策定委員会に、参加させていただき、強く感じたことが3点ありました。まず、「穴吹のことで知らないことがあまりに多い」ということです。身近に実在する生活課題、地域課題さえも把握（意識）できていませんでした。次に社会福祉協議会、包括支援センター等の職員の方々の日頃のきめ細やかなご尽力です。誰一人も取り残さないまちづくりに強い意欲を持ち、個別訪問を繰り返し、課題解決に懸命に取り組まれています。さらに充実した自治会の取組が何例も委員会の中で取り上げられました。一人の人の問題や地域の問題をみんなの問題と考え、住民一人ひとりの自発的な行動に支えられています。今回、委員会に参加して、一市民として大変勉強させていただき、地域福祉の重要性を再認識しました。ありがとうございました。

・計画策定に参加し、特に山間集落全体が、衰退して行く現状において、小学校区など、地域の実情に合った組織をつくり、高齢者になっても安心して暮らせるような支援体制が、必要だと感じました。

・計画策定委員がどのようなことをするのか、また地域のことも知らずに委員を引き受け、皆様に大変迷惑をかけたと反省しています。2年間地域で生活して自治会域では情報共有や見守りは他の地域よりはできていると思いますが、問題としてのとらえ方や解決策、専門職との関わりはできていないように思います。地域リーダーの育成や専門職とのネットワークづくりは早期に解決したい課題であると思います。限界集落ではあるが、皆が生きがいを持ち、楽しく安心して暮らせる地域になればと思っています。私自身としては、策定委員会に参加することで、色々な人と関われたこと、地域のことを知る事ができて良かったです。ありがとうございました。

・食料品店、病院等が姿を消し、寂れていく地域。若者の減少も著しい中、子どもでにぎわうまちづくりとなるような事業等が必要と感じました。

・活動計画策定委員会に参加させていただき、穴吹地区の新しい発見ができました。委員会の最大の推進目標は、「ミマモール活動」と思います。「ミマモール活動」の担い手として現在活動している組織を活性化することで「ミマモール活動」を活発に発展させることができると考えています。今後、情報交換の場を設けてミマモール活動が発展することを祈っています。

委員長
副委員長

策定委員名簿 ※敬称略

上谷 敏也	本家 富子	大館 恵子	小山 陽央	住友 克彦	武田 大太郎	谷 佐智子	辻 孝	堤 芳樹	中江 明代	中川 洋二	平岡 明美	藤川 和幸	藤田 英雄	本家 勉	丸石 勇	山下 誠一	陽山 泰子
-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-----	------	-------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------

木屋平地区地域福祉活動計画

ミマモール活動の推進

《自治会域》

- 住民同士の見守り活動(小ネット)の推進・企業(郵便・土建業・農協・生協等)の協力による見守り体制づくりの構築
- いきいきサロンを知ってもらい、存続と継続



話し合いの場の確立

《自治会域》

- ちょっとした集まりを利用した情報共有の推進

《旧小学校区域等》

- 自治会活動の情報共有や課題解決に向けた話し合いの場づくり
- 地域で課題をまとめ、専門職を交えた話し合いの場づくり

《旧町村域》

- 実行委員会の成果等をもとに次年度計画に活かしていく
- 行政、各種団体、企業等との連携に向けて協議する場をつくっていく

居場所づくり

《自治会域・旧小学校区域等》

- 既存の活動(サロン等)を活かした集いの場づくり・サロン交流会の開催

《旧町村域》

- つるぎの里(デイ)の周知、啓発活動し、憩いと和みの拠点としていく
- 多世代が集まれるイベント等の開催

住民と専門職の協働

《自治会域・旧小学校区域等・旧町村域》

- 地域の課題や、問題を抱えた方を発見し我が事としてとらえ、地域で考える機会を作っていく

《旧小学校区域等・旧町村域》

- 多職種(専門職)と顔の見える関係性の構築
- 新しい資源(居場所)開発で、課題の早期発見



策定委員からのコメント

- ・見守る眼力(パワー)で、今後の活動の楽しみが増えた。
- ・この計画を、地域の方に知っていただきみんなで協力して頑張りましょう。
- ・微力ながら頑張ります！
- ・活動計画はできたが、推進事業はもっと大変だと思う。頑張りましょう。
- ・推進事業がスムーズに行えるように頑張っていきます。
- ・みんなで笑顔・ふれあい・支え合い！(^^)！
- ・計画をもとに、皆で力を合わせて地域の力を強めて楽しく活動できるようにしたいです。

策定委員名簿 ※敬称略

委員長	黒岩 誠治	天田 テル	立道 浩司	藤本 高次
副委員長	新谷 文孝	梅津 久子	中西 格子	宮前 手伸
	阿部 照	経塚 和義	西 正二	
	阿部 義則	黒岩 誠	西保手文子	
	天每木量平	勢古 博信	原田せつ子	